

# 令和6年度 八王子市立城山小学校 学校経営報告書

令和7年3月

八王子市立城山小学校

校長 小澤 孝弘

## I. 今年度の取組と自己評価

A…達成 B…概ね達成 C…未達成 ◎…成果大 成果中…○ 課題…▼

### (I) 教育活動への取組と自己評価

#### ① 学力向上……………A

◎保護者アンケートの「落ち着いて学習できる雰囲気」を問う設問では、昨年度後期71%から今年度後期91%と大きく上昇した。児童アンケートでも肯定的評価が72%で昨年度の45%から27ポイント上昇した。

○基礎学力定着を図るための補習学習が功を奏し、後期児童アンケートの授業満足度は95%であり、昨年度後期より6ポイント上昇した。(最上位の「あてはまる」は16ポイント上昇)

○保護者アンケートの「分かりやすい授業が行われ、学力の定着がある」という設問の肯定的評価が昨年度後期91%から今年度後期95%と4ポイント増加した。

○八王子っ子ミニマムの正答率が6割に満たない児童は前期22%であったが、後期は12%となった。個別指導の成果が出てきている。また、正答率9割以上の児童は国語で33%、算数で45%と、それぞれ10ポイント以上の上昇が見られた。

#### ② 健全な心身の育成……………B

◎毎週火曜日に「いじめ対策委員会」を実施し、全職員の共通理解を図りながら組織的対応を図ることができた。基本的には早期解決が実現できており、重大事案は0件である。保護者アンケートの肯定評価は92%であり、本校の取組が支持されていると考える。

◎安全な学校への取組では校舎・遊具点検のこまめな実施。遊具危険箇所を事前に交換、子ども・保護者への注意喚起を実施し、怪我の回数の減少には至らなかった。保護者の肯定評価は100%である。

◎特別支援教育の充実について、校内特別支援委員会によるケース会議の実施、スクールカウンセラーや外部関係機関との連携により教育相談体制の強化が図ることができた。

○保護者アンケートでは、「子どもの将来や進路、職業への指導(キャリア教育)の実施」という設問の肯定的評価が昨年度後期83%から今年度後期79%に後退したものの高評価を維持している。引き続き、キャリア・パスポートを中心とした本校の取組を周知していく。

○保護者アンケートの「子どもの生活指導に適切に取り組んでいるか」という設問の肯定的評価が今年度後期93%と高評価を維持している。

○保護者アンケートの「自他の大切さを認め、行動できる教育を進めているか」という設問の肯定的評価が昨年度後期91%から今年度後期96%と5ポイント上昇し、高評価を維持している。

▼今年度の重点であった「くつをそろえて入れている」について、児童の肯定評価は89%であり、目標は未達である。

### ③ 特色ある学校づくりの実践……………B

- ◎環境教育・食育・福祉教育・租税教育・健康教育は予定通り実施できた。食育に関する栄養指導を1・2・3年生の全学級で行い、残菜を減らすことについて成果が見られた。
- ◎「AL+GIGA推進校」として、年4回の研究授業を実施し、内3回は市全体にも公開して、成果を公表することができた。一人一台の学習用端末の活用、対話的な学びを中心としたアクティブラーニングを推進し、本校の授業デザイン確立につなげることができた。
- 保護者アンケートの「学習環境整備や清掃活動」という設問の肯定的評価が後期94%と、古い校舎ではあるが高評価を維持している。
- 読書指導の充実発展について、読書ボランティアを活用した読み聞かせを実施できた。毎学期「読書週間」の取組を行い、児童の読書意欲の向上につなげることができた。
- 城山中学校と連携し、教員同士の授業観察や情報交換、部活動体験、地域行事の行動参加などを実施した。また、今年は青少年対策委員会と連携し、中学2年生と小学2年生合同で清掃活動も実施した。

### ④ 信頼される学校づくり……………B

- ◎私費会計の口座振替のシステムを強化させ、電話の対応時間も変更し、働き方改革を進めた。
- ◎保護者に伝えるべきことはその日のうちに行うことを徹底し、信頼関係の構築に努めた。
- 地域の苦情や要望にも素早く対応した。
- サービスの厳正については、大きな事故もなく達成できた。
- 服務事故防止研修については、年3回の研修会に加え、職員会議等を利用して、日常指導の徹底を図った。

### ⑤ 開かれた学校づくり……………B

- ◎家庭との連携を充実させるため、ホームページ、メール、学校・学級便り等による積極的な情報発信を行った。保護者アンケートの「情報提供」に関する設問の肯定的評価は今年度後期96%と高評価を維持している。
- 学校公開については、運動会、授業公開、城山アートフェスティバルなどを予定通りに実施した。大変好評をいただいた。

### ⑥ 組織的な学校経営を進める……………B

- 学校経営者会議(企画会)では、管理職・主幹教諭・主任教諭で情報共有を図りながら、臨機応変に対応策を講じることができた。また、互いの経営感覚を磨く研修の機会ともなった。
- 学校運営協議会には、主幹教諭も参加し、学校と保護者、地域のパイプ役を担いながら、学校運営に反映できた。
- 小さいことでも安心して相談でき、職員が孤立しない職場を実現できた。職員のまとまりについては、自負している。

▼次世代の担う教員をさらに育成し、基幹となる人材を発掘しなければならない。

(2) 重点目標「やさしい子」の取組に関する自己評価……………総合B

- ① 子どもの生命や安全の保障……………B
- ② 児童の多様性を認め、自他を大切にす教育……………B
- ③ 生活指導の徹底……………B
- ④ 教育相談と校内支援体制の充実……………A
- ⑤ 特別な教科「道徳」の充実……………B

## 2. 令和7年度に向けて

### ☆学力の向上

- ① 落ち着いた学習環境を実現させる。
- ② 朝の短時間学習、月曜日・火曜日の放課後学習を有効に活用し、基礎・基本の定着を図る。
- ③ 八王子っ子ミニマムの結果を分析して、習得目標値未達児童の学力向上を図る。
- ④ 児童アンケート結果を自己申告の目標に反映させ、取り組ませることで教員の学習指導力を育成する。
- ⑤ 令和6年度AL+GIGA推進校の取組を継続し、いっそうの授業改善を図る。

(校内の組織化、保護者への協力依頼を図る)

### ☆生活指導の充実

- ① 落ち着いた学校生活を実現させる。
- ② いじめの早期発見早期解決、不登校児童への適切な支援を目指して、教員、保護者と一体となって、改善に取り組む。
- ③ 児童アンケート結果を自己申告の目標に反映させ、取り組ませることで教員の生活指導力を育成する。
- ④ 火曜日6校時のいじめ対策の時間を継続し、定例のいじめ対策委員会の充実を図る。
- ④ SNS城山小ルールの周知と外部団体と連携した安全指導の充実を図る。
- ⑤ 「城山小スタンダード」(「よくわかる城山小」)を配布し、学校と家庭の共通理解のもと一貫した指導を行う。

### ☆小中一貫教育の充実(キャリア教育の充実)

- ① 小中の学校経営の関連性と連続性を重視する。
- ② 城山中学校での部活動見学(体験)と施設見学を実施する。(生徒会主催)
- ③ 小中教員による相互授業を実施し、合同分掌等部会を開催する。(年2回)
- ④ 清掃活動や防災活動等、地域行事への共同参加を呼び掛ける。
- ⑥ 取組の様子を積極的に発信し、保護者・地域の小中一貫教育への理解を図る。

### ☆創立50周年事業の取組

- ① 創立50周年記念事業準備委員会を中心に、佳節を皆で祝えるような式典・イベントを企画実行する。
- ② 児童保護者地域が一体となって記念事業を展開し、子供たちの愛校心を育み、地域愛を醸成する。